

■主語の人称代名詞

Q - 1: 代名詞にはどんな種類がありますか？

代名詞には人称代名詞、不定代名詞、指示代名詞、疑問代名詞、関係代名詞があります。他に、定冠詞には代名詞的用法があります。ここでは人称代名詞だけを扱います。他は、不定語、指示語、疑問語、関係語の項を参照してください。

Q - 2: 人称代名詞にはどんな種類がありますか？その構成は？

人称代名詞は一人称、二人称、三人称の区別のある代名詞です。大きく分けて、強勢人称代名詞と弱勢人称代名詞があります。強勢人称代名詞には主語として使われる人称代名詞と前置詞の後に使われる人称代名詞があり、弱勢代名詞には直接目的語、間接目的語、再帰形の人称代名詞があります。

人称代名詞には一人称、二人称、三人称があり、それぞれ単数形と複数形があります。三人称の意味は人とは限りません。三人称は、基本的に一人称・二人称以外のすべての人や事物を指します。

Q - 3: 主語として使われる人称代名詞にはどのような形がありますか？

人稱・性・数によって次の形があります。一人称単数と二人称単数、そして *usted / ustedes* は男女の区別がなくて同じ形が使われますが、三人称の単数と、(*ustedes* をのぞく) すべての複数形には男女の区別があります。*usted* と *ustedes* は敬称なので、日本語の敬語にあたります。他に、中性の人称代名詞 *ello* があります。

人称	性	単数	複数
一人称	男性	yo	nosotros
	女性		nosotras
二人称	男性	tú	vosotros
	女性		vosotras
三人称	男性	él	ellos
	女性	ella	ellas
	男性/女性	usted	ustedes

Q - 3: 主語人称代名詞の用法は？

(1) 主語が一・二人称のときは基本的に主語の人称代名詞がなくても動詞の形で主語がわかるので、人称代名詞は使いません¹。

- ¿De dónde eres? -- Soy de Japón. // 君はどこ出身ですか?—僕は日本から来ました。

三人称でも文脈や場面で明らかな場合は省略します²。

- Ha vuelto José. --¡Qué bien!, ¿cómo está? // ホセが帰ってきました—それはよかった。彼は元気ですか?

主語の人称代名詞は、主語を強調するときや対比的に使われるときです。

- Yo voy solo. // 私は一人で行きます。
- Yo cantaba mientras tú tocabas la guitarra. // 君がギターを弾いている間、

¹ 線過去、過去未来、接続法現在・過去では一人称単数と三人称単数の区別がつかないので、主語は省略しないほうがよいでしょう。

- ¡No sé lo que haría yo sin ti! // 君がいなければ僕はどうしていいかわからない。

² usted や ustedes は敬語なので、とくに初めて言及するときは省略しないほうがよいでしょう。

- ¿Usted ha estado en México? // あなたはメキシコにいらしたことがありますか。

僕は歌を歌っていた。

(2) 主語の補語を示します。

- **Cristián es bueno. La mala eres tú.** // クリスティアンはいい人だ。悪いのは君(女性)だ。

(3) 前置詞の後で使われます³。

- **No puedo vivir sin él.** // 私は彼がいなければ生きていけない。

(4) 文の中ではなく、独立して用いることもあります。

- **¿Quién quiere la tortilla? – ¡Yo!** // トルティーリャがほしい人は？—ぼく！

Yo y el pueblo // 「私と村」 (シャガールの絵画)

Q - 4: 三人称主語代名詞はどのように使われますか？

(1) 主語として使われる三人称のél, ella, ellos, ellasは人を指します⁴。

- **Él nunca falla.** // 彼は決して失敗しない。

(2) 次のように文脈や場面にある人を指します。文脈にいる人を指す場合、多くは前にある名詞を指します。

- **Vi a José y él me entregó la carta.** // 私はホセに会い、ホセは私にその手紙を渡した。

³ ただし、yo と tú は別の形(mí, ti)を使います。→後述

⁴ 事物の主語を明示化するためには指示代名詞を使います。

- **Éste nunca falla.** // これは決して失敗しない。

しかし、él, ella, ellos, ellas が前置詞の後で用いられると、事物を指すことがあります。

- **¿Ves aquella montaña? Detrás de ella, hay un lago.** // あの山が見えるかい？あの後ろに湖があるんだ。

(3) 次は場面にいる人を指す場合です。

- Él nunca nos saluda. // (離れた人を指して) 彼はけっして私たちに挨拶しない。

(4) usted は三人称ですが、聞き手を指します。

- Vamos todos a la playa, tú, nosotros y, claro, ustedes, también. // 皆で海岸へ行きましょう。君と、私たち、そして、もちろんあなたがたも。

Q - 5: 中性の人称代名詞はどのように使われますか？

中性の人称代名詞はすでに述べたこと、あるいは話し手と聞き手の間でわかっていることを示します。

- Juan no me dijo nada y ello me extrañaba. // フアンは私に何も言わなかった所以我はそれを変に思った。

Q - 6: 女性複数形が使われるときは？

名詞や代名詞の女性複数形はそれが指す人々がすべて女性のときに使われます。男性が一人でも混じっていれば、男性の複数形が使われます。話し手が女性であっても「私たち」の中に男性が含まれていれば nosotros と言わなければなりません。

- Nosotras nunca obedeceremos ciegamente a los hombres. // 私たち女性は決して盲目的に男性に従うことはないでしょう。
- Ahí están Maricarmen, Rosa y José. ¿Quieres hablar con ellos? // あそこにマリカルメン、ロサそしてホセがいる。君、彼らと話をしたい？

Q - 7: 前置詞の後の人称代名詞の形は？

(1) 前置詞の後のほとんどの人称代名詞は主語人称代名詞と同じ形です。これらは強勢語です。

- Ahí están mis compañeros. Yo trabajo con ellos. // あそこに私の仲間がいます。私は彼らと一緒に仕事をしています。

(2) 一人称単数(yo)と二人称単数(tú)はそれぞれmíとtiという特別の形を使います⁵。

- ¿Este café es para mí? -- Sí, es para ti. // このコーヒーは私のですか?—そう君のだ。

(3) mí と ti は con と一緒になると次のように一語を形成します。

- con + mí → conmigo 私と一緒に
- con + ti → contigo 君と一緒に
- ¿Vienes conmigo? --Sí, voy contigo. // 君僕と来る?—うん、君と行こう。

(4) 前置詞のentreとhastaの後の一人称単数と二人称単数は前置詞補語人称代名詞ではなくて、主語人称代名詞を用います⁶。

- Lo haremos entre tú y yo. // 君と僕でそれをやろう。
- Hasta tú no lo sabías. // 君さえもそれを知らなかった。

Q - 8: 中性人称代名詞

(1) 中性の人称代名詞はすでに述べたことや話し手と聞き手の間で了解されていることを示します。次の形があります。

⁵ mí にアクセント符号があるのは所有形容詞の mi と区別するためです。 ti には他に同じ綴りの語がないのでアクセント符号をつけません。

⁶ この場合、 entre や hasta は副詞の役を果たしています。

主語	ello
間接目的語	le
直接目的語	lo
前置詞補語	ello

- No pensaré más en ello. // もうそのことを考えるのはよそう。
- Teresa dice que va a casarse, pero no lo creo. // テレサは結婚すると言っているけど、僕は信じない。

(2) ser, estar, parecer, fingir の主語の補語として中性の lo が使われる。

- ¿Es José el dueño del restaurante? --Sí, lo es. // ホセはレストランのオーナーですか—はい、そうです。

(3) 主語の ello はあまり使われず、代わりに指示代名詞 eso などを使う。

Q - 9: tú と usted はどのように使い分けられますか？

気安い相手に対しては親密的な tú や vosotros が用いられますが、距離がある関係では丁寧な usted が用いられる(複数は ustedes)。日本語で敬語を用いるような相手ならば usted を使えばよいでしょう。また、英語やスペイン語でファーストネーム(名)で呼ぶ相手ならば tú を用います。

- Buenos días, profesor. ¿Cómo está usted? // おはようございます、先生。お元気ですか。

usted の使用には敬意と距離が表裏一体となっているので親しい間柄で usted を使うと、わざと 距離を置いた感じになり雰囲気はよそよそしくなります。

- No me hables de usted, que me hace sentir viejo. // usted なんかに話さないで、年とったみたいだから。

tú (vosotros)や usted (ustedes)という代名詞を使わなくても、動詞が二人称を

使えば tú を使っていることになるし、三人称で相手を指せば usted で話していることとなります。

初対面で見知らぬ人ならば usted を使った方がよいでしょう。一方、学生同士など若者の間では初対面でも tú を使うことが多いです。

- Oye, ¿sabes dónde está el comedor? // ねえ、食堂がどこか知ってる?

会話ではしばしばファーストネームを挿入して親しさを表現します。

- Pero, mira, Carlos, tú sabes muy bien lo que quiero decir. // でもいいかい、カルロス、君は僕の言いたいことがよくわかっているはずだ。

両親には tú で話すのが一般的ですが、昔は usted を用いていました。今でも地域によって、また家庭によって usted が使われています。tú で話すことを tutear といい、usted で話すことは hablar de usted といいます。

- No me hables de usted. Tutéame, por favor. // usted で話さないで、お願いだから tú を使って。

Q - 10: ラテンアメリカの地域では tú ではなく vos が使われるそうですが…

中米や南アメリカ南部の地域では、代名詞の tú を用いず代わりに vos を使う。動詞も直説法現在形、接続法現在、命令法において独特の形を使う。

- ¿Vos entendés? // 君わかる?
- ¡Agarrá! // つかまえて!